

大会派遣・研修報告書（報告者：山下実咲・吉村愛菜）	
1. 大会・研修会名	令和3年度九州中学校体育大会／第51回九州中学バスケットボール競技大会
2. 研修期間	2021年8月4日(水)～6日(金)
3. 派遣者	福岡 敏徳(長崎)・松永 雄平(佐世保)・山下 実咲(長崎)・吉村 愛菜(大村)
4. 日程	4日(水) 移動 長崎県～鹿児島県 5日(木) 男女1・2回戦 6日(金) 男女準決勝・決勝／移動 鹿児島県～長崎県
5. 研修概要	担当ゲーム 福岡 敏徳(長崎)：男子2回戦 CC／女子決勝 CC 松永 雄平(佐世保)：男子1回戦 CC／女子3位決定戦 U2 山下 実咲(長崎)：女子1回戦 U2 吉村 愛菜(大村)：女子2回戦 U2
6. 研修内容	《山下氏報告》 女子1回戦 れいめい 対 中津 CC 比嘉涼太氏(沖縄) U1 末信優華氏(福岡) U2 山下実咲(長崎) 【ポストゲームカンファレンス/クルーミーティング内容】 ・プレゲームカンファレンスで確認していたメカニクスができた。 ・センターオフィシャルが苦しい状況になっている場面や、プレスディフェンス時のメカニクスについて共有し、タイムアウトやインターバル時にコミュニケーションを取ってメカニクスの修正を行えたのが良かった。1Qの早い段階でお互いに気付いて修正できたらもっと良かった。 ・ダブルホイッスルになった事象について、ビデオを見て検証を行った。取り上げた同じ一つのファウルであっても、2人のアングルが異なるために、捉えたPOCが違ったことを確認できた。「事象の『全体像』を考え、どちらがレポートするとより説得力があるか」という視点で考えると、エリアを持っているプライマリで判定することが必ずしも最善というわけではなく、プライマリではないがアングルを持っているセカンダリが判定する方が良いケースもあるということを学ぶことができた。また同時に、センターオフィシャルの役割として、しっかりアングルを捉えてカバーすることの大切さを理解することができた。 ・「分かりやすさ」を大事にして、プレゼンテーションの技術を上げていく必要がある。 《吉村氏報告》 女子2回戦 コザ(沖縄) 対 日章学園(宮崎) CC 佐田 明美氏(大分) U1 末信 優華氏(福岡) U2 吉村 愛菜(長崎) 【ポストゲームカンファレンス/クルーミーティング内容】 ・どちらもコンタクトが激しいチームだったので、コンタクトの現象を取り上げるだけでなく、プレイのはじまりを見ることが重要なゲームだった。 ・タイムアウト後のそれぞれの位置をしっかりと確認する(メディカルタイムアウトあけの位置取りも) ・フリースロー確認のタイミング(コールをした人、ゲームレポート、パスを出すまで)を逃さず、本数をしっかりと確認すること。 ・コールしたものに対しては、強い姿勢ではっきりと示すこと。

	どちらもコンタクトが激しく、転倒するケースもかなりあったゲームだったので、どちらかに決着をつける、もしくは正しくノーコールにするためにはプレイを長くとらえておく必要を強く感じた。 また、ファウルを取り上げたものに関して、自分の中で説明をしっかりと持つことができているれば、次の現象に対しても準備ができるので、今後の審判活動の中では、今回の反省をもとに判定の基準軸をぶらさないようにしていきたいと思った。
7. 所感	九州大会への派遣は初めてで、想像していた以上に、刺激や学びの多い大会になりました。今回割当をいただいた1ゲームを通して、「信頼」と「協力」の大切さや有難さをこれほどまでに感じる事ができたゲーム（クルー）は今までになかったように思います。プレゲームカンファレンスにおいて、「初めてのクルー。できるだけ早く信頼関係を築くこと（が大切）。信頼関係を築くのに大事なのが、どこでも共通のメカ。それからアイコンタクトとコミュニケーション。」という内容の話をしていただきました。ゲームの中では、自分自身の至らない点多々あり、クルーにフォローをしていただきました。しかしポストゲームカンファレンスでは、「助けた、助けられたではなく、それが『協力』であって、クルーでは当たり前のこと。」という話をしていただきました。この経験を通して、審判技術と同時に、自分自身のコミュニケーション力や人間性を高め、一早く信頼関係を築けるクルーの一員になれるよう、努力していきたいと思いました。（山下） 今回、初めて中学校の九州大会に派遣していただき、多くのことを学ぶことができました。担当したゲームは攻守の切り替えがとても早く、1試合自分の気持ちをぶらさずに判定することの難しさを感じました。県内では、自信のなさから弱い笛になってしまうことも多いのですが、今回他の審判員の方々の審判姿を見て、しっかりと準備をして大会に臨むことの大切さを新ためて感じました。今回学んだことを生かし、県内でもより一層研鑽していきたいと思います。（吉村） 最後になりますが、今回派遣いただいた（一社）長崎県バスケットボール協会の皆様と、お世話になりました鹿児島県バスケットボール協会の皆様に御礼申し上げます。